

長野県南部地域における特記すべき植物の分布記録

蛭間 啓*・南信州植物調査会・大鹿の100年先を育む会

Description of particularly notable plants in southern Nagano Prefecture, Japan.

はじめに

筆者らは、2009年より長野県南部地域において植物の分布調査を行ってきた。ここに2009年～2014年の調査の中でも特記する必要あり（地域新産あるいはそれに準じる記録）と認められる維管束植物の分布記録を報告する。なお、南信州植物調査会の会員提供の記録のうち、本人の個人研究記録として長野県植物研究会誌に報告しているものについては本報からは除外する。学名は、コウシンヒゴタイを除き、米倉（2012）を参照した。

県新産

コウシンヒゴタイ *Saussurea pseudosagitta* Honda

下伊那郡大鹿村小河内沢 1600m 2013.8.17

採集者：蛭間啓

標本：TNS01185684（TNS：国立科学博物館植物標本）ICMHE10308（ICMHE：飯田市美術博物館収蔵植物標本）

下伊那郡大鹿村豊口山～三伏峠 2150m

2014.8.31 採集者：蛭間啓

標本：NAC172108, 同 172109（NAC：長野県環境保全研究所植物標本）

雑記

2013年8月17日に小河内沢奥の湿った岩場にてトウヒレン属の標本を採集した。これを葉形や岩場に生えるという生態から、県内には分布記録のないミヤマトウヒレン *Saussurea pennata* Koidz. と同定し、確認のため国立科学博物館の門田裕一博士に標本を送り同定を依頼した。門田氏の同定結果は、総苞外片の先端が長く伸びること、湿った岩場に下垂して生じることなどから、コウシンヒゴタイということだった。コウシンヒゴタイは、Honda（1932）において記載されたが、その後はヤハズトウヒレン *Saussurea sagitta* Franch. に含まれてきた。門田氏は上記の形態、生態の特徴を重要視して、コウシン

ヒゴタイをヤハズトウヒレンから独立させる見解をとっている（ヤハズトウヒレンは草で斜上する）。

2015年2月24日に国立科学博物館標本庫において標本調査をおこなった。コウシンヒゴタイとヤ

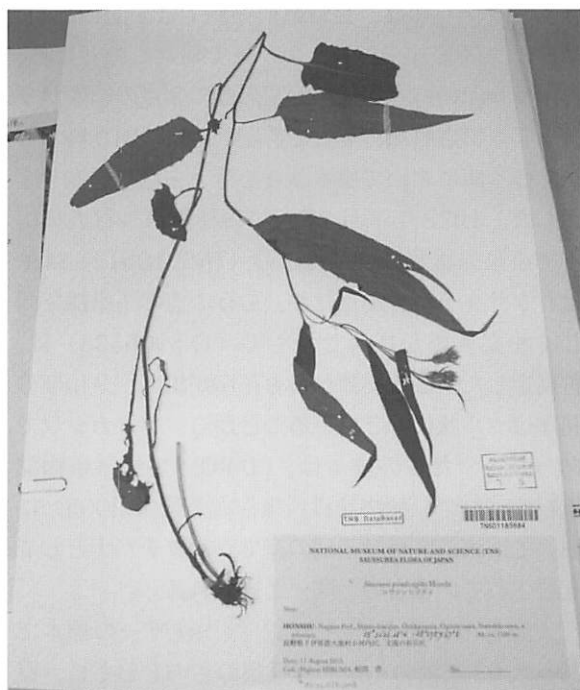


写真1 コウシンヒゴタイ標本（国立科学博物館蔵）

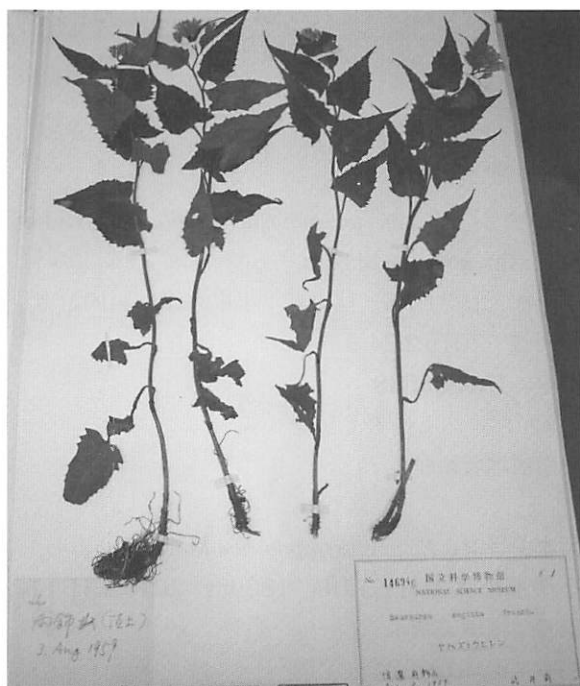


写真2 ヤハズトウヒレン標本（国立科学博物館蔵）

* 長野県環境保全研究所

〒381-0075 長野市北郷 2054-120

(2015年4月1日より尾瀬保護財団)

ハズトウヒレンを比較すると葉の形状、総苞外片、茎の頑強さに明らかな違いが見いだされ、コウシンヒゴタイを独立させる見解が妥当と判断した。詳細については門田氏からの報告を待ちたい。

クサタチバナ *Vincetoxicum acuminatum* Decne.
下伊那郡大鹿村小河内沢雨乞の滝手前 1600m
2014.8.21 採集者：蛭間啓
標本：NAC170436, 170439

雑記

クサタチバナは、長野県植物誌では未記録だが、サイエンスミュージアムネットで検索したところ、科学博物館の標本庫に長野県内産の2点の標本がリストアップされた、そこで前記と同日に国立科学博物館標本庫において標本調査を行い2点の標本を確認した。1922年7月27日に現伊那市長谷大横川谷で小泉秀雄が採集したもの（TNS910512）はやはりクサタチバナだったが、もう1点の小県郡で同じく小泉秀雄が採集したもの（TNS905538）は、再同定したところ葉腋からも花序が出て、茎頂部の花序はツル状に伸びていることから、ツルガシワであった。またこの標本は、CD-ROM 長野県植物誌資料集（長野県植物誌資料集作成委員会 2005）において旧東部町烏帽子岳の産でクサタチバナとして記録されているものと同一と思われる。

大鹿村のクサタチバナは、県内産唯一の標本であった93年前の小泉秀雄採集のものとともに、県内新産記録となる。また、再同定の結果明らかになったツルガシワは記録に残るものでは県内産唯一の標本で、こちらも県内新産記録となる。

（長野県産標本発掘記録）

ツルガシワ *Vincetoxicum macrophyllum* Siebold et Zucc. var. *nikoense* Maxim.

小県郡 1931.7.5 採集者：小泉秀雄 再同定者：蛭間啓 2015.2.24
標本：TNS905538

南信地域新産

アオキラン *Epipogium japonicum* Makino
下伊那郡大鹿村豊口山 1800m 2010.8.31 採集者：峯田美智子
標本：ICMHE7624

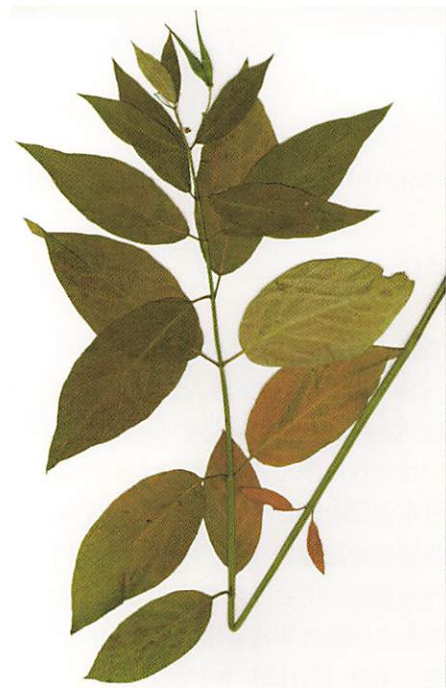


写真3 クサタチバナ標本
(長野県環境保全研究所蔵)



写真4 ツルガシワ標本（国立科学博物館蔵）



写真5 コハケラン（2014.7.9 大鹿村）

シラオイハコベ *Stellaria fenzlii* Regel

下伊那郡大鹿村柵村山 2050m 2012.7.29 採集者：蛭間啓（蛭間ほか 2013）

標本：ICMHE10166, 10167

オニヒカゲワラビ *Diplazium nipponicum* Tagawa 飯

田市南信濃小嵐 600m 2012.8.25 採集者：木下義彦

標本：NAC172107

飯田市南信濃小嵐 500m 2014.9.27 採集者：木下義彦

標本：NAC172107

上伊那郡新産

オオハクウンラン

Kuhlhasseltia fissa (F.Maek.) T.Yukawa

駒ヶ根市赤穂中割 850m 2009.8.5 採集者：林芳人

標本：ICMHE3418

ウラシマソウ

Arisaema thunbergii Blume subsp. *urashima* (H.Hara)

H.Ohashi et J.Murata

駒ヶ根市赤穂福岡 600m 2010.5.16 採集者：林芳人

標本：ICMHE7165

オオヤマカタバミ *Oxalis obtriangulata* Maxim.

駒ヶ根市駒ヶ根高原 900m 2011.5.2 採集者：石井佳代子・林芳人

標本：ICMHE9702

駒ヶ根市切石 900m 2011.5.3 採集者：林芳人

標本：ICMHE9650

ゴマノハグサ *Scrophularia buergeriana* Miq.

上伊那郡中川村陣馬形山 1300m 2012.9.5 採集者：林芳人

標本：ICMHE10193

下伊那郡新産

マツラン（ベニカヤラン）

Gastrochilus matsuran (Makino) Schltr.

下伊那郡大鹿村鹿塩梨原 1000m 2012.4.4 採集者：前島正介（前島 2012）

標本：ICMHE10223

下伊那郡大鹿村大河原上市場 700m 2012.4.4

採集者：前島久美

標本：ICMHE10252

コハクラン（前頁写真5）

Oreorchis indica (Lindl.) Hook.f.

下伊那郡大鹿村塩川 1900m 2014.7.9 採集者：蛭間啓・前島久美

標本：NAC170417

下伊那郡大鹿村小渋川 広河原～赤石岳 1700m

採集者：前島久美

標本：NAC172088

（既報補足）

タチガシワ *Vincetoxicum magnificum* (Nakai) Kitag.

飯田市南信濃便ヶ島 1000m 2010.5.29 採集者：蛭間啓

標本：ICMHE9442

竹重（2014）において、同所のタチガシワの新産が報告されているが、既存の標本情報として補足しておく。

上伊那郡飯島町新産

サウトウガラシ

Deinostema violaceum (Maxim.) T.Yamaz.

上伊那郡飯島町七久保北村 800m 2009.8.23

採集者：石井佳代子・蛭間啓

標本：ICMHE2711, 3030

下伊那郡大鹿村新産

ミツバコンロンソウ

Cardamine anemonoides O.E.Schulz

下伊那郡大鹿村大西山 1500m 2012.5.19 採集者：蛭間啓

標本：ICMHE10168

アオホオズキ

Physaliastrum japonicum (Franch. et Sav.) Honda

下伊那郡大鹿村豊口山 1900m 2012.7.14 採集者：蛭間啓

標本：ICMHE10165

オオヤマカタバミ *Oxalis obtriangulata* Maxim.

下伊那郡大鹿村大萱山 1300m 2014.5.28 採

集者：前島久美

標本：NAC172200

ハルニレ

Ulmus davidiana Planch. var. *japonica* (Rehder) Nakai

下伊那郡大鹿村大河原烏倉山濃ヶ池 1445m

2014.6.26 採集者：蛭間啓

標本：NAC170672

飯田市新産

ヒメニラ *Allium monanthum* Maxim.

飯田市南信濃上島 520m 2012.4.21 採集者：

蛭間啓

標本：ICMHE10231

飯田市南信濃木沢 550m 2012.4.21 採集者：

蛭間啓

標本：ICMHE10230

ツルカノコソウ *Valeriana flaccidissima* Maxim.

飯田市南信濃名田熊 600m 2013.4.13 採集者：

蛭間啓

標本：ICMHE11054, 11055

謝辞

国立科学博物館の門田裕一博士には、コウシンヒゴタイの同定を行っていただいた。同博物館の海老原淳博士には、同館標本庫における標本調査にご協力いただいた。長野県環境保全研究所の大塚孝一博士には、本報をまとめるにあたり有益なご助言をいただいた。2009年度-2013年度飯田市美術博物館地域史研究事業（自然）より、調査・情報提供謝礼を受けた。2012年度-2014年度に大鹿村教育委員会より交通費補助を受けた。ここに記して御礼申し上げる。

引用文献

- 蛭間 啓・大鹿の100年先を育む会（2013）長野県南部地域でシラオイハコベの生育を確認，伊那谷自然史論集 13：53.
- Honda, M. (1932) Nuntia ad Floram Japoniae X V., Bot. Mag. Tokyo 46：1-3.
- 前島正介(2012)長野県内の新産地を大鹿村で発見，伊那谷の自然 161：16.
- 長野県植物誌資料集作成委員会（2005）CD-ROM 長野県植物誌資料集（普及版）
- 竹重 聡（2014）長野県内新産地報告（2），長野県植物研究会誌 47：105-107.
- 米倉浩司（2012）日本維管束植物目録，北隆館.